

2020 年度第 2 回総会議事録

開催日 : 2020 年 11 月 14 日、午前 10 時～12 時
開催場所 : NTC イースト、会議室 A+リモート
出席者 : 吉田進、石田直章、中ノ瀬啓作、田村祥、吉田寿子、高橋省吾、宇城元、三浦浩、岡田有史
リモート出席者 : 中元伊知郎、城隆志、大堂秀樹、森英二、岡本孝義
委任欠席 : 仲博幸
以上 15 名。過半数 (15/19) の出席につき、総会成立。
議長 : 吉田 進 (理事長)
議事録署名人 : 中元伊知郎、瀬尾桂一

1、＜議決事項＞

① 役員変更

- * 2021 年 4 月 1 日より役員 70 歳定年制を導入することが全会一致で承認された。
役員定年制導入に伴い、吉田、中ノ瀬、田村の 3 理事は、2021 年 3 月末日を以って理事を退任する。
- * 上記 3 理事の退任に伴う後任理事として、ガバナンスコードが要求している外部人材や女性役員の比率も考慮の上、次の 4 名を候補者として人選に入る。その上で、最終的には 2021 年 3 月に予定している総会に上程の上、正式に理事就任の承認を総会に諮るスケジュールが併せ承認された。
徳永大作
森英二
井岡雅子
齋藤れい (桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部准教授)
- * 次期理事長は、新理事間の互選になるが、石田直章を次期理事長候補とする事が正会員間で共有された。
又、2021 年のパラリンピック開催如何によって、石田理事長体制への移行を下記 2 案とする事も併せ正会員の理解を得た。
 - (1) パラリンピックが開催されない場合は、2021 年 4 月 1 日を以って石田理事長体制をスタートさせる。
 - (2) パラリンピックが開催された場合は、現吉田理事長がパラリンピック組織委員会パワーリフティングスポーツマネージャーとして勤務している関係から、パラリンピック終了月 (2021 年 9 月) まで吉田理事長体制を継続し、新石田理事長体制は、2021 年 10 月 1 より発足するものとする。
(この場合、吉田理事は、例外扱いとして、2021 年 9 月末まで理事に留まる事が、総会で承認された)
- * 尚、新理事会が成立後も各種委員会委員長の職については、現在の任期満了までは入替わりは無い。(例：中ノ瀬アンチドーピング委員長、吉田強化委員会委員長、等)
- * 中ノ瀬理事並びに吉田進理事は役員退任後も引続き正会員として連盟に残るが、田村理事については、正会員を退会し、賛助会員となる予定。

2、＜審議・報告・草案事項＞

- ② ガバナンスコード審査について、2022 年までに毎年審査を受けながら、弁護士の協力も得て、ガバナンスを整えていく。ガバナンス進捗状況は、ホームページで確認できることが報告された。
- ③ 2021 年度全日本選手権参加標準記録の見直し
ジュニア、女子に新たに標準記録を設ける事、又男子の標準についても見直す事の理解を得た。具体的な内容・数字については強化委員会より提案を受け、理事会で決定の上、周知する。

- ④ 全日本選手権開催要項が説明・報告された。
- ⑤ ワールドカップ選手選考基準について、不明瞭な点があるとの指摘があったので、
然るべく修正の上、改めて対象選手に周知する事となった。
- ⑥ 委員会運営がスムーズにいかない事例が報告され、事務局と各委員会でリモート会議をする
などして、委員会運営がスムーズに運ぶよう、対応することが確認された。
- ⑦ 国際大会参加費の徴収について提案があったが、継続審議となった。

以上

議長： 吉田 進



議事録署名人
中元伊知郎



議事録署名人
瀬尾桂一

